



関小学校源流米会食会

関小学校で毎年行われている米作りで、4、5、6年生が作り上げた源流米が、今年の米・食味分析鑑定コンクールで金賞を受賞しましたが、12月17日、そのお米を使った給食で、米作りをとおしてお世話になった地域の皆さんを歓迎する源流米会食会が開催されました。給食には佐藤沙希さん（5年）が考えたオリ

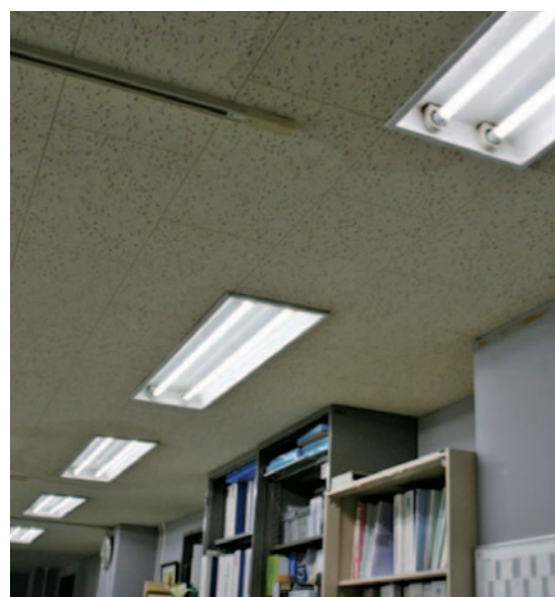
ジナルメニュー「丸ごとダイコン飯」等が振る舞われ、会食後には感謝の言葉とともに関小児童が作った源流米がプレゼントされました。

見わたすかぎりの雪に感動!!

短期山村留学「ゆのはら自然体験村」

1月11日から13日まで、仙台市など2市3町から24名の小学生が参加した2泊3日の短期山村留学が開催されました。参加した子どもたちは湯原小学校の生徒6名と共に見わたすかぎりの雪に大興奮し、スキーや雪灯籠づくりはもちろん、わら細工や餅つきなど、様々なプログラムで時間を忘れて遊び尽くしました。また、湯原地区の方々が子どもたちのためにそり滑り用のコースを作ってくれ、子どもたちはそのコースを何度も何度も滑り降りていました。

毎日のように雪が降るとても寒い中での活動でしたが、子どもたちは最後まで元気いっぱい、冬の七ヶ宿を思う存分満喫しました。



みやぎ環境交付金事業 環境にやさしい庁舎へ

町では、町民の皆さまから住民税とともに納税をいただいている「みやぎ環境税」を活用した「みやぎ環境交付金事業」を行っています。

25年度は役場庁舎の蛍光灯をLEDタイプに変更し、消費電力を40%以上削減し、二酸化炭素排出抑制を図りました。

【25年度事業実績】

- 事業費 2,399,250円
- 事業量 280本交換
- 二酸化炭素の削減量 年間8,299kg-CO₂

全盲のプロドラマー佐藤尋宣さんがやってきた!

12月16日、宮城県出身で「Soul Breezin」というユニットを結成しているドラマーの佐藤尋宣さんと、ボーカルの千嘉さん夫妻が湯原小学校に来校し、ドラムの演奏や児童達との合奏、合唱を通して交流を図りました。

佐藤さんは「Music for kids dream」という活動に取り組んでおり、子どもたちに視覚障害者への理解を深めてもらうとともに、夢を持つ大切さを伝えたいという思いから、小学校や公民館を訪れて子どもたちと一緒に音楽を通してふれあい交流を行っています。

当日児童達は佐藤さんに教わりながら実際にドラムを叩いたり、「上を向いて歩こう」を合奏したり、とても楽しそうな時間を過ごしていました。また、児童達は佐藤さん夫妻に感謝の気持ちを込めて、「ありがとう」という歌を贈りました。



自分だけの記念品を制作

12月19日、湯原小学校に柴田町の陶芸家、太田正孝さんが来校し、太田さんのご指導のもと児童達が自らデザインした陶芸品を制作しました。児童の中には納得がいくまで何度も作品を作り直す子もおり、気に入った作品ができると友達同士でお互いの作品を見せ合っていました。また、作品に使った土には校庭の砂が混ぜ込まれており、今年度をもって閉校する湯原小学校での思い出の詰まった記念品になればいいという横塚校長先生の思いも込められています。その砂は4年生の松川凌人くんが集めてくれたものです。

